

第5章 平成29年度（平成28年度対象）  
点検・評価結果



徳島県教育振興計画(第2期) 平成28年度 成果指標進捗状況等

基本方針1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

推進項目	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
番号 1 キャリア教育の推進体制の確立及び充実 キャリア教育推進指針の策定・推進 事業項目 キャリア教育の推進	<p>平成25年度に策定した「徳島県キャリア教育推進指針」を学校・家庭・地域に周知し、学校が組織的にキャリア教育に取り組むための指導体制を確立する上で必要となる全体計画の作成を推進するとともに、職業人・社会人による「講演・出前授業」の実施など、学校におけるキャリア教育を推進するための支援を図る。</p> <p>学校関係者・経済団体・有識者等から組織する「徳島県キャリア教育推進協議会」を開催し、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進を図るための方策について協議・検討を行うとともに、経済団体・企業等と連携した「講演・出前授業」や教職員の企業理解に向けた教員対象企業見学バスツアーの実施、「キャリア教育推進フォーラム」の開催など、学校におけるキャリア教育推進に向けての支援に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:一)</p> <p>(成果) キャリア教育を推進する上で必要となる全体計画が県内公立すべての学校において作成された。学校におけるキャリア教育推進への支援として経済団体・企業等と連携した「講演・出前授業」や教員対象企業見学バスツアーの実施、さらに「キャリア教育推進フォーラム」の開催により、系統的・体系的なキャリア教育の推進に向けて発信することにつながった。</p> <p>(課題) 家庭・企業への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知が不十分であるとともに、各学校において全体計画に基づく学校段階間の接続を見据えた実践が必要である。</p> <p>今後の取組方針 「徳島県キャリア教育推進指針」の内容を経済団体・企業等の会議やP.T.A研修会において周知するとともに、「徳島県キャリア教育推進協議会」を開催することにより、学校・家庭・経済団体・企業が連携・協働したキャリア教育を推進する。各学校における全体計画に基づく学校段階間の接続を見据えた実効性のあるキャリア教育の推進に向けて、点検・評価等についての支援を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	策定		推進	推進	推進	推進		推進	推進		
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
策定		推進	推進	推進	推進		推進	推進													
番号 2 担当課 学校教育課 施策・成果指標 キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立高校におけるインターンシップの実施率 事業項目 キャリア教育の推進	<p>児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全県における職場体験やインターンシップの取組を推進する。</p> <p>「県立施設におけるインターンシップ促進事業」「『みんなが主役』！小中高校生インターンシップを促進するため、「県立施設におけるインターンシップ促進事業」『みんなが主役』！小中高校生起業塾」に取り組んだ。また、H28年3月に作成したインターンシップ推進に向けた学校用手引書及び企業用手引書の活用を呼びかけるとともに、インターンシップについて新規の受入先企業を開拓するなどして、インターンシップ受入先企業を呼びかけるとともに、「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」について充実を図った。さらに、キャリア教育を組織的・体系的に推進するため、各学校に「キャリア教育全体計画」作成を依頼している。</p> <p>(成果) 「県立施設におけるインターンシップ促進事業」、「『みんなが主役』！小中高校生起業塾」の実施や「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の活用等により、多くの高校でインターンシップを実施している。</p> <p>(課題) 生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、キャリア教育の重要性に対する理解の深化、インターンシップの有効性についての理解が進んだ結果、インターンシップを実施する学校が増加しており、キャリア教育を組織的・体系的に進める意義への理解の浸透をさらに進める必要がある。</p> <p>今後の取組方針 各種事業の研究校における成果について発表、報告集の配布等により他校への普及を図るとともに、「県立施設におけるインターンシップ促進事業」にアカデミック・インターンシップとしての位置付けを加え、受入先を拡充する等、インターンシップの多様な展開を推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.3</td> <td>82.9</td> <td>82.9</td> <td>82.9</td> <td>92.7</td> <td>95.1</td> <td>97</td> <td>100.1%</td> <td>95</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:%)</p>	基準値(H23)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	77.3	82.9	82.9	82.9	92.7	95.1	97	100.1%	95	97
基準値(H23)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)												
77.3	82.9	82.9	82.9	92.7	95.1	97	100.1%	95	97												

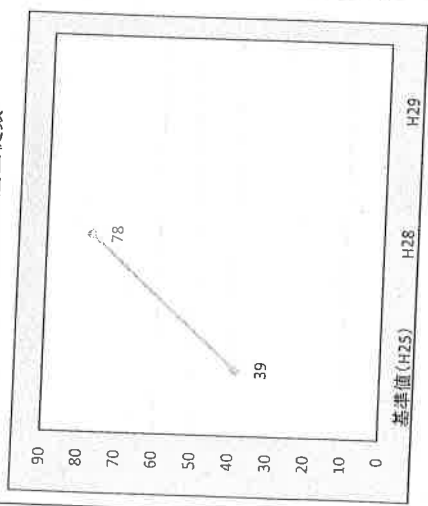
番号	3	推進項目 <b>キャリア教育の推進</b>	施策・成果指標 キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立中学校における職場体験の実施率	事業目的 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b>																									
取組状況 (H28年度 分)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>96.5</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>98.8</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H23)	96.5	100.0	100.0	98.8	100.0	達成率(H28)				100.0%		目標値(H29)				100	100	(成果) これまでの啓発活動により、職場体験実施率は100%となっており、今後はこの実施率を継続させていきたい。 (課題) 生徒の多様な希望に対応するため「あわ教育サポーター企業等データベース」のさらなる充実、また、「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題に対応していく必要がある。				
年度	H25	H26	H27	H28	H29																									
基準値(H23)	96.5	100.0	100.0	98.8	100.0																									
達成率(H28)				100.0%																										
目標値(H29)				100	100																									
評価 今後の取組方針	各市町村教育委員長や中学校長が集まる会において、職場体験の必要性を伝えるなどして職場体験実施に向けた依頼を行った。また、職場体験受入に向けた企業用リーフレットを作成し配布を行った。さらには、職場体験について新規の受入先を開拓するなどして職場体験受入先企業のデータベースである「あわ教育サポーター企業等データベース」について充実を図った。	「あわ教育サポーター企業等データベース」の内容の充実や利用促進を図るとともに、職場体験の効果的・効果的な実施方法、事前・事後指導の充実等、勤労観・職業観の育成について調査研究していく。																												
推進項目 <b>キャリア教育の推進</b>	担当課 学校教育課	施策・成果指標 産学官連携・高大連携の推進 産学連携事業実施校数(累計)	事業目的 専門教育の一層の高度化を図るため、企業や大学、県の試験研究機関等と協働した施策や事業を積極的に行う。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b>																										
取組状況 (H28年度 分)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>133.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	3	6	9	12	16	18	達成率(H28)					133.3%		目標値(H29)					12	18	(成果) 本事業により、専門高校の生徒の創造力や専門的技術・技能を生かした実践的な取組を行うことができ、専門的な技術・技能の深化を図ることができた。 (課題) 本事業の一層の推進に向けて、多くの専門高校が、企業や大学、県の試験研究機関等と連携を深めることができ、専門的に支援していく必要がある。
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																								
基準値(H24)	3	6	9	12	16	18																								
達成率(H28)					133.3%																									
目標値(H29)					12	18																								
評価 今後の取組方針	阿南工業高校「コンクリート構造物の長寿命化(耐久性)を目指して」、那賀高校「地域資源を活用したものづくりプロジェクト」、つるぎ高校「金長狸や六右衛門狸をモチーフにした阿波踊り人形の制作」、三好高校「徳島・三好ならで「gibier」の開発」の4校が各企業や団体等からの指導助言を受け実施した。	平成29年度については、5校程度を認定し、引き続き専門的な技術・技能の深化を図る。事務局が、報告集を作成し、小・中学校へ配布することで事業の周知を図る。																												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
5	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 6次産業化商品のプロデュース数(累計)	<p>「6次産業化をプロデュースする人材」を育成するため、農業科、工業科、商業科設置高校等が連携し、それぞれの専門性を活かすことにより、6次産業化に対応した実践的な取組を行う。こうした取組の実証成果をもとに、全県下に普及を図ることで、専門高校の充実や6次産業化に対応した新たな教育を推進する。</p> <p>徳島県ならではの生産物をテーマに、県下各3地域で展開。県央では「阿波藍」をテーマに、城西高校、徳島科学技術高等学校、徳島商業高校、県南では「ゆこう」をテーマに、小松島西高校勝浦校、新野高校、阿南工業高校、富岡東高校、県西では「アロマオイル」をテーマに、三好高校、つるぎ高校、つるぎ高校での学校間連携により、生産・商品開発・加工・販売について協働活動・情報交換を行い、各自の専門性を学んだ立場から、6次産業化商品のプロデュースに取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:件)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>5</td> <td></td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県下3地域における農業科、工業科、商業科設置校等の連携により、6次産業化商品(県央:和菓子・ぎょうざ等)、(県南:ゆこうケーキ)、(県西:アロマキャンドル)をプロデュースし、一部で試作販売への展開を進めることができた。また、専用の機器等を製作することで、生産の効率化を図った。(県央:「藍」の刈り取り機)・「藍すくも温度管理システム」、(県南:収穫ばさみ・搾り器)、(県西:アロマオイル蒸留装置)等)</p> <p>(課題) 販売への展開を進める上で、真に売れる商品とするために、国内外市場を踏まえた商品開発が課題である。</p> <p>3地域での学校間連携(協働)の取組を継続することにより、プロデュース商品の新たな魅力化、生産方法・工程での改善、販路開拓等による事業の拡大・発展を図る。</p>	(単位:件)					基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	-	-	3	5		125.0%	4	7
(単位:件)																										
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
0	-	-	3	5		125.0%	4	7																		
6	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 大学から高校へ出向き行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する高大連携部会の事業として、県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、大学と高等学校の連携を強化することで、キャリア教育の推進を図る。</p> <p>県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、各高等学校に積極的な利用を推奨した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:ー)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各高等学校で、出張講義の積極的な活用がなされた。</p> <p>(課題) 高校と大学の教育内容接続のための情報交換会などを通して、高等学校のニーズと大学が提供する講座のマッチングをさらに図っていく必要がある。</p> <p>毎年度「県内5大学出張講義一覧」を更新して、各高等学校に広報していく。</p>	(単位:ー)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進
(単位:ー)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
-	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進																		

番号	推薦項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
7	キャリア教育の推進	主権者教育(政治的教養を育む教育)の推進 主権者教育の充実に向けた取組の推進	<p>事業目的 習得した知識を活用し、主体的な選択・判断を行い、他者と協働しながら様々な課題を解決していきこうとする国家・社会の形成者としての資質や能力を育むため学校における主権者教育を推進する。</p> <p>取組状況(H28年度分) 「主権者教育に関する教員研修」では、主権者教育の指導方法の在り方や副教材の活用方法、政治的中立性に關する指導方法に關する研修を行い、「主権者意識を高める教育の充実のための出前講座」では、各学校へ大学教授、選挙管理委員会職員等の専門家を派遣し、政治や選挙等に関する講演を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>評価 (成果)社会科学・公民科の授業をはじめ、その他の教科、特別活動、総合的な学習の時間を活用して、主権者教育の指導を行った。生徒会役員選挙における模擬投票の実施、現代社会の諸課題をテーマとしたディベートの実施など指導内容に工夫が見られた。 (課題)主権者教育を学校全体の取組にし、体験的・実践的な学びを重視していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 生徒の政治や選挙に関する興味・関心を高め、社会への主体的な参画につなげるための指導内容や指導方法を考え、実践する必要がある。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	—	—	—	推進			推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	—	—	—	推進			推進	推進													
		担当課 学校教育課																			

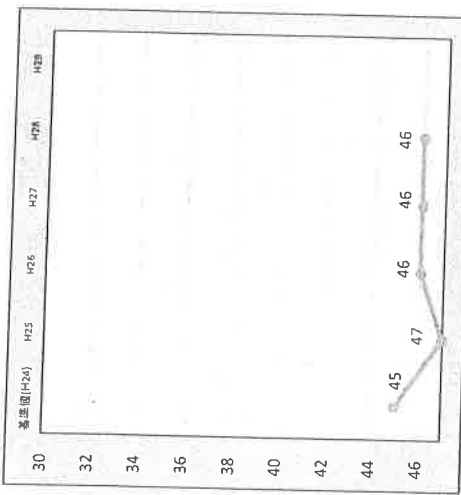
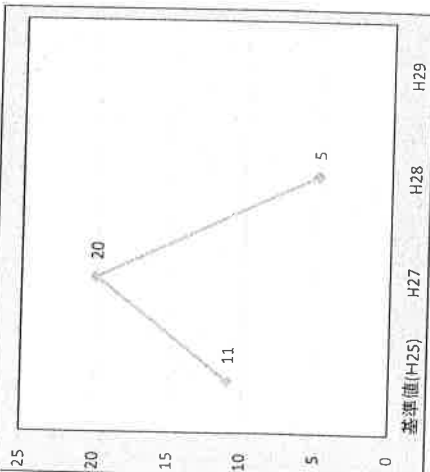
推進項目	施策・成果指標	事業目的	取組状況(H28年度分)	評価	今後の取組方針																		
8	外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 外国語(英語)教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。	「Tokushima英語村プロジェクト・ステップアップ事業」「留学促進事業」「徳島グローバルスタウンダード人材育成事業」等により、日本人としてのアイデンティティや「生きた英語」を身に付けるため、児童生徒が外国人と交流する機会を提供したり、留学や海外短期研修の経費支援等を行った。 (単位：－) <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	－	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進	(成果) 実践的に英語を使用したり「世界」を体感する機会の提供により、学校単位での国際交流推進や小中高を通じたグローバルマインドの育成を図ることができた。また、学校計画訪問等により英語の指導改善を図ることができた。 (課題) 意欲ある生徒が、学校での授業や外国人との交流で身に付けた英語力やコミュニケーション能力をさらに伸ばす機会を提供する必要がある。	引き続き小中高を通じて英語力を高めたりグローバルマインドを育成する機会を提供しつつ、訪日外国人等に県内を英語で案内できる能力を身に付けた人材を育成するため、高校生の「ジュニア観光ガイド」を引き続き養成する。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)															
－	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進															
9	外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 高校生の留学(疑似留学体験、海外語学研修含む)者数	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 外国語(英語)教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。	「Tokushima英語村プロジェクト・ステップアップ事業」「留学促進事業」「徳島グローバルスタウンダード人材育成事業」等により、日本人としてのアイデンティティや「生きた英語」を身に付けるため、児童生徒が外国人と交流する機会を提供したり、留学や海外短期研修の経費支援等を行った。 (単位：人) <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>106</td> <td>－</td> <td>－</td> <td>220</td> <td>178</td> <td>230</td> <td>77.4%</td> <td>230</td> <td>270</td> </tr> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	106	－	－	220	178	230	77.4%	230	270	(成果) 実践的に英語を使用したり「世界」を体感する機会の提供により、学校単位での国際交流推進や小中高を通じたグローバルマインドの育成を図ることができた。また、学校計画訪問等により英語の指導改善を図ることができた。 (課題) 意欲ある生徒が、学校での授業や外国人との交流で身に付けた英語力やコミュニケーション能力をさらに伸ばす機会を提供する必要がある。	高校生の「ジュニア観光ガイド養成」の取組をはじめとする小中高の児童生徒が生きた英語に触れる機会の創出、留学に関する情報提供である「留学フェア」や「トビタテ！留学JAPAN報告会」の実施、海外留学に必要な英語力を測る英語4技能テストの実施、「海外留学支援ヘルプデスク」での留学に向けたサポート体制の充実など、留学の気運を高める取組を推進していく。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)															
106	－	－	220	178	230	77.4%	230	270															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
10	多様なニーズに対応した学習機会の提供	<p>婦国・外国人児童生徒に対する教育の充実 日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進</p> <p>担当課 学校教育課</p>	<p>事業目的 婦国・外国人児童生徒に対する日本語指導等の支援については、地域や学校、児童生徒の更なる連携を図り、指導内容や指導体制が大きく異なっている。県内の日本語教育に関する関係機関との連携を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>「婦国・外国人児童生徒“いきいき”事業」により、日本語指導を必要とする婦国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、日本語教育に関する市民団体や国際交流協会、大学との連絡協議会や、日本語講師や学校の教員等を対象とした研修会を実施するとともに、学校が受入の役割を担ったWLB Bページの、保護者に対する学校からの連絡文(英語版)の発行を追加するなど、支援体制の充実を行った。平成28年度から事業主体を市町村へ移行し、県が補助事業として市町村の取組を支援する体制とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県内の関係機関とのネットワーク構築により、学校に日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際に必要な支援を円滑に実施できるようになった。</p> <p>(課題) 外国人児童生徒の増加に伴い、日本語指導や通訳ができる人材をより多く確保する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 日本語講師の指導力向上を図るための研修の実施等により婦国・外国人児童生徒への支援体制の充実を図る。また、長期滞在する生徒に対して、キャリア教育の視点を踏まえた支援体制を整える。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	—	推進	推進	推進	推進	—	推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	—	推進	推進	推進	推進	—	推進	推進													
11	多様なニーズに対応した学習機会の提供	<p>婦国・外国人児童生徒に対する教育の充実 日本語講師を派遣する対象の児童生徒数</p> <p>担当課 学校教育課</p>	<p>事業目的 本県において、婦国・外国人児童生徒は近年増加が続いている。婦国・外国人児童生徒がスムーズに学校生活に適応できるように、日本語講師を派遣し、支援体制を構築する。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>「婦国・外国人児童生徒“いきいき”事業」により、日本語指導を必要とする婦国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>78</td> <td>—</td> <td>130.0%</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 申請のあった学校に対し、日本語講師を派遣し、日本語学習の支援を行うことができた。</p> <p>(課題) 生活言語の指導により初期対応はできているが、進路指導、キャリア教育に繋がる学習言語の支援が必要である。支援が必要な児童生徒に対して、児童生徒や保護者のニーズに合った支援ができるように、市町村と連携していく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	39	—	—	—	78	—	130.0%	60	60
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
39	—	—	—	78	—	130.0%	60	60													





番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																														
12	ICTを活用した教育の推進 ICTを活用した授業実践の研修参加者数	<p>ICT活用能力の育成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>377</td> <td>442</td> <td>423</td> <td>412</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	参加者数	377	442	423	412	400	<p>学校においてICTを活用した教育の推進が進められるよう、総合教育センターで実施する研修において、教職員がICTを活用した授業等を実践し、児童生徒が自ら、また協働して学習できる環境等を作るためのスキル及び意識の向上を図る。</p> <p>1 初任者研修、10年経験者研修において、情報教育に関する講義やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を実施した。(各1日)</p> <p>2 希望者を対象とした研修において、学校でのICT活用を想定した研修講座を実施した。(7講座10回)</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>377</td> <td>442</td> <td>423</td> <td>412</td> <td>103.0%</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 文部科学省「教育の情報化に関する手引」に示された「教員に必要となるICT活用指導力」の内容に沿った研修を実施したことにより、授業におけるICTの活用について、理解とスキルを深めることができた。</p> <p>(課題) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成28年3月実施)において、ICT活用指導力に関して、「わりにできる」「ややできる」と回答した本県の教員の割合は88.9%と年々向上しており、全国平均(73.5%)を上回っているものの、今後もこの割合の向上が求められる。</p> <p>今後も、授業における教員のICT活用指導力向上に資する研修内容の改善に取り組みとともに、プログラミンダ教育やタブレット活用など、児童生徒の学習環境の変化に対応した講座の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)		-	377	442	423	412	103.0%	400	400
年度	H25	H26	H27	H28	H29																												
参加者数	377	442	423	412	400																												
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																									
	-	377	442	423	412	103.0%	400	400																									
	事業目的																																
	取組状況(H28年度分)																																
	評価																																
	今後の取組方針																																

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
13	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 国民体育大会天皇杯順位の向上 	<p>中長期的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、飛躍段階に応じた「一貫指導システム」の構築と「優秀な指導者の養成」をめざす。</p> <p>平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の実績が、トップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。平成28年度は、昨年度までの23の競技団体に「プロポールの普及」や「柔道連盟の2団体」に加わり、25の競技団体が事業を展開した。「育成プログラム」を作成及び修正することにより、強化事業を実施することにも、指導者の講習会の実施や中央での研修会への派遣を行い、指導者の育成に努めた。</p> <p>さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めることにも、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基礎強化を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位:位)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>46</td> <td></td> <td>30位台</td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 国体をはじめとする全国大会や国際大会において、高校生の上位入賞が定着しつつある競技・種目の増加傾向が見られる。特にお家芸と言われるライフル射撃では毎年高校生が全国大会で入賞し、卒業後も競技を続け、ジュニアからシニアまでの一貫指導体制が確立されている。</p> <p>(課題) 組織力や運営能力が未成熟な競技団体を継続的に育成・支援することにより競技力の底上げを図るとともに、さらに指導者の資質向上の啓発を行い競技団体と連携・協働していく必要がある。本県は人口が少なく必然的に競技人口が少ないので、その中で国体天皇杯順位を向上させるための取り組みが必要である。</p> <p>県庁各部署と教育委員会の連携はもとより、県内大学や関係団体とのさらなる連携強化を図るとともに、トップアスリート選手の育成と競技力の向上に向けた事業の精選と再構築について検討していく。さらに、本県同様に人口が少ないが、国体において好成績をおさめる他県の対策等について分析も行い、本県の取組の充実と強化につなげていく。</p>	(単位:位)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	45	47	46	46	46	46		30位台	30位台
(単位:位)																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																			
45	47	46	46	46	46		30位台	30位台																			
14	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数 	<p>事業目的 全国高等学校総合体育大会等の全国大会において上位入賞ができて運動部を育成する。</p> <p>専門満潮高校スポーツ科の施設や人材を活用した「満潮スポーツアカデミー推進事業」や「徳島トップスポーツ校育成事業」を通して競技力向上を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位:団体・個人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>27.8%</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「平成28年度全国高等学校総合体育大会」において、団体2、個人3、合計5の入賞があった。また、全国高校総体と同等の大会である「第54回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」においても、優勝2を含む団体4、優勝1を含む個人4、合計8の入賞があった。</p> <p>(課題) トップスポーツ校を中心に継続的に強化を図る必要がある。また、カヌーなど新たに活躍できる競技の育成を図る。</p> <p>「ジュニア選手の発掘」や「指導者の養成」に取り組みとともに、中学校と連携を図り継続的な強化に努めることにより、高校生の競技力向上を図る。中学校トップスポーツ競技育成事業を通して、中学校の優秀な競技に対して支援を行うことにより、中学校からの競技力レベルの引き上げに努める。</p>	(単位:団体・個人)						基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	11	-	-	20	5	5	27.8%	18	20
(単位:団体・個人)																											
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																			
11	-	-	20	5	5	27.8%	18	20																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																			
15	スポーツ文化の創造	<p>競技スポーツの振興 鳴門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定 人数</p> <table border="1"> <caption>体力測定人数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>250</td> <td>328</td> <td>325</td> <td>214</td> <td>221</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>73.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値	250	328	325	214	221	300	達成率(H28)					73.7%		目標値(H28)					300		目標値(H29)						300	<p>事業目的 県内トップ選手の体力を総合的に診断し、得られたデータを科学的に分析しトレーニングに活用することで競技力の向上を図る。</p> <p>大学や県トレナー協会、スポーツ栄養士協会と連携を強め、競技者の体力を「総合的に診断し、競技力向上のサポートを行った。</p> <p>(成果) スポーツ指定校をはじめ、県内高校の運動部に「体力診断」が定着しつつある。</p> <p>評価 (課題) 測定に来る運動部がある程度固定化されている。時期や場所の問題もあるが、様々な機会を通じて広報啓発に努める必要がある。</p> <p>今後の取組方針 中学生選手の利用拡大により、才能ある競技者の発掘を行うほか、受入体制の強化や大学、各種団体への広報に努め、一層の競技力向上に努めていく。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>少子高齢化の進行や高度情報化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地域間格差の拡大など様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻き巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、平成25年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成28年2月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。</p> <p>また、各市町村におけるスポーツ関係施策等のアンケートを行い、集計結果を各市町村にフィードバックすることとも、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行うため、平成28年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。</p> <p>(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。</p> <p>評価 (課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。</p>
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																
基準値	250	328	325	214	221	300																																
達成率(H28)					73.7%																																	
目標値(H28)					300																																	
目標値(H29)						300																																
	スポーツ文化の創造	<p>担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造 徳島県スポーツ推進計画の着実な推進</p>	<p>事業目的 県内トップ選手の体力を総合的に診断し、得られたデータを科学的に分析しトレーニングに活用することで競技力の向上を図る。</p> <p>大学や県トレナー協会、スポーツ栄養士協会と連携を強め、競技者の体力を「総合的に診断し、競技力向上のサポートを行った。</p> <p>(成果) スポーツ指定校をはじめ、県内高校の運動部に「体力診断」が定着しつつある。</p> <p>評価 (課題) 測定に来る運動部がある程度固定化されている。時期や場所の問題もあるが、様々な機会を通じて広報啓発に努める必要がある。</p> <p>今後の取組方針 中学生選手の利用拡大により、才能ある競技者の発掘を行うほか、受入体制の強化や大学、各種団体への広報に努め、一層の競技力向上に努めていく。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>少子高齢化の進行や高度情報化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地域間格差の拡大など様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻き巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、平成25年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成28年2月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。</p> <p>また、各市町村におけるスポーツ関係施策等のアンケートを行い、集計結果を各市町村にフィードバックすることとも、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行うため、平成28年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。</p> <p>(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。</p> <p>評価 (課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。</p>																																			

推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
17	<p>文化芸術活動の推進 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数</p> <p>標準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 160 183 177 176 181 180</p> <p>達成率(H28) 100.6%</p> <p>目標値(H28) 180</p> <p>目標値(H29) 180</p> <p>(単位:人)</p>	<p>事業目的 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録数を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化をめざす。</p> <p>取組状況(H28年度分) 1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めた。また、学校に「文化教育人材バンク」の活用を周知するとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <p>評価 (成果)「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集案内時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。 (課題)各学校の文化芸術活動が更に推進されるよう、多様なジャンルの芸術家を確保し、周知に努めるとともに、登録講師の高齢化に対応する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 「文化教育人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、芸術家等と学校のニーズを把握しながら、新規登録者の開拓に努める。</p>
18	<p>文化芸術活動の推進 文化の森文化施設普及事業の開催回数</p> <p>標準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 254 265 298 298 280 270</p> <p>達成率(H28) 103.7%</p> <p>目標値(H28) 270</p> <p>目標値(H29) 270</p> <p>(単位:回)</p>	<p>事業目的 優れた芸術作品に直接触れ合う機会を設けるとともに、県民のニーズに応じた様々な普及行事を実施し、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげる。</p> <p>取組状況(H28年度分) 各館で様々な普及行事を実施した。 ・博物館 107回 ・21世紀館 37回 ・近代美術館 51回 ・鳥居龍藏記念博物館 10回 ・文書館 59回 ・図書館 16回</p> <p>評価 (成果)学芸員の調査研究の成果を活かし、県民の誰もが参加でき、楽しみながら学び、考え、知的欲求を満たすことのできる場を提供した。 (課題)幅広い世代を対象に、豊富な普及行事を実施する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 引き継ぎ、幼児から成人・高齢者に至るまでの世代を対象にした普及事業を実施する。今後は、参加者の要望も取り入れながら、更に魅力ある各種展示解説、体験教室等を実施するとともに、継続して普及事業に参加される方には、内容を深く掘り下げた知的好奇心を刺激するよう新たな事業も併せて実施する。</p>

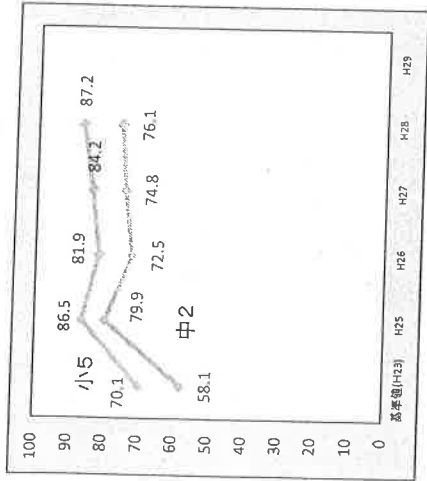
番号	推進項目	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
19	<p>施策・成果指標 伝統文化と文化財の保存・継承 伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校 教育課程の実施</p> <p>伝統文化の継承と文化芸術の創造</p>	<p>あわ文化教育を教育課程に位置づけて、効果的にかつ継続的に、ふるさと徳島の伝統文化や文化財について学び、誇りを持って県内外へ発信していくことができる生徒の育成をめざす。</p> <p>平成27年度は公立中学校1年生を対象に「あわ文化教育」を実施したが、平成28年度は、全ての県内公立中学校1年生と2年生を対象に「あわ文化学習」を実施し、授業や体験活動を行うとともに、「あわ文化検定」を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="303 257 406 1265"> <caption>(単位：一)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>モデル校での実施</td> <td>モデル校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> <td></td> <td></td> <td>全公立中学校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県立3中学校(城ノ内中学校・富岡東中学校・川島中学校)を含む全ての県内公立中学校1年生、2年生を対象に「あわ文化学習」を実施した。</p> <p>(課題) あわ文化学習を効果的に実施するための、各学校に於ける指導の工夫・改善を促すリーダー教員の要請が必要である。</p> <p>全公立中学校で体系的かつ効果的にあわ文化教育が実施されるよう、あわ文化教育のリーダー育成のための取組みを進める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	モデル校での実施	モデル校での実施	全公立中学校での実施	全公立中学校での実施			全公立中学校での実施	全公立中学校での実施
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)												
—	モデル校での実施	モデル校での実施	全公立中学校での実施	全公立中学校での実施			全公立中学校での実施	全公立中学校での実施												
担当課 教育文化課																				

基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

推進項目  
施策・成果指標

学力向上策の推進

ふだん一日10分以上読書をする児童生徒の割合



確かな学力の育成

20

担当課 学校教育課

施策・成果指標

学力向上策の推進

「全国学力・学習状況調査」で調査対象となっている国語・算数(数学)の県平均正答率

確かな学力の育成

21

担当課 学校教育課

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書館活動を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。

学校図書館の活性化を通じた読書習慣づくりの取組として「読書の生活化プロジェクト」を実施し、小学校5年生、中学校2年生を対象に実態調査を実施した。

基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
70.1	86.5	81.9	84.2	87.2		99%	88.0	89.0
58.1	79.9	72.5	74.8	76.1		92%	83.0	84.0

(成果)多くの学校において、お薦めブックリストの作成や期の一斉読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。

(課題)小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低いため、学校図書館活動を活性化し、読書の生活化に向けた取組を深め、さらに啓発活動を行っていく必要がある。

子供たちの身近に読みたい本がある環境づくりを推進するため、各学校の図書館がより一層活用されるように図書館活用の機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクト」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

「全国学力・学習状況調査」における教科(国語、算数・数学)の調査により、知識・技能の習得及び知識・技能を活用して問題を解決する力(思考力・判断力等)の定着の状況等を把握し、各学校の授業改善を促進する。

学力向上推進委員研修会、学校訪問指導等において、調査結果の分析を踏まえた授業改善の具体的方策を周知するとともに、市町村教育委員会との協議や校長会等を通じて、課題解決に向けた指導の充実について共通理解を図った。「全国学力・学習状況調査」の実施(4月19日)

「全国学力・学習状況調査」の結果公表(8月25日)訂正版(9月26日)

基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
-	-	-	推進	推進		推進	推進	全国平均以上

(成果)全国的・全県的な状況を参考に各学校において結果分析を行い、自校の課題に即した授業改善等の取組が推進されている。

(課題)各学校において、学力向上に対する意識をそろえ、学力・学習状況調査を有効に活用して、学校全体で組織的・協働的に取り組むことが重要である。

引き続き「全国学力・学習状況調査」に参加し、調査結果を活用した学力向上の取組を一層推進する。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
22	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率</p> <table border="1"> <caption>実施率の推移 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小6</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>87.5</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>89.0</td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>91.3</td> <td>83.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.0</td> <td>82.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>92.0</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>95.3%</td> <td>103.9%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小6	中3	H24	87.5	82.9	H25	89.0	88.4	H26	91.3	83.2	H27	96.0	82.7	H28	92.0	92.7	H29	95.3%	103.9%	<p>事業目的 「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の重点的な課題となっている、書く力を伸ばすための充実を促進する。</p> <p>取組状況 (H28年度分) 学力向上推進員研修会、教育課程研修集会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための具体的な指導方法等について研修を実施した。 「学力向上推進員研修会 (6月・2月)」 「教育課程研修集会 (8月)」 「学校訪問指導 (延べ約300校)」 の実施</p> <table border="1"> <caption>(単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.5</td> <td>89.0</td> <td>91.3</td> <td>96.0</td> <td>92.0</td> <td></td> <td>95.3%</td> <td>96.5</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>82.9</td> <td>88.4</td> <td>83.2</td> <td>82.7</td> <td>92.7</td> <td></td> <td>103.9%</td> <td>87.5</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小・中ともに基準値から実施率が上がり、小学校では目標値を超えたとともに全国平均を上回った。 (課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的な方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 小中の国語部会と連携し、指導の具体的な方策や有効な手立てについて協議を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	87.5	89.0	91.3	96.0	92.0		95.3%	96.5	97.0	82.9	88.4	83.2	82.7	92.7		103.9%	87.5	88.5
年度	小6	中3																																																	
H24	87.5	82.9																																																	
H25	89.0	88.4																																																	
H26	91.3	83.2																																																	
H27	96.0	82.7																																																	
H28	92.0	92.7																																																	
H29	95.3%	103.9%																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																											
87.5	89.0	91.3	96.0	92.0		95.3%	96.5	97.0																																											
82.9	88.4	83.2	82.7	92.7		103.9%	87.5	88.5																																											
23	確かな学力の育成	<p>担当課 学校教育課 施策・成果指標 幼稚園・小学校・中学校の連携 幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 幼・小・中学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>取組状況 (H28年度分) 幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成28年度から2年間の研究指定地域として阿南市・東みよし町を指定し、実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位: -)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 教職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等が実施され、連携・接続の推進が図られた。本事業の成果を「あわ(OUR)教育発表会」や実践報告書を通して、広く県内に普及した。 (課題) 成果の更なる普及を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 幼・小・中11年間を通じた「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、阿南市・東みよし町を指定地域とした2年次の実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進			推進	推進																														
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																											
-	推進	推進	推進	推進			推進	推進																																											

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
24	確かな学力の育成	コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進	<p>授業や行事等において外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>地域ぐるみで児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るため、学校地域支援本部や地域コーディネーター等の育成等の普及を図ることにより、外部人材や地域ボランティアの積極的な活用を推進した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人の思いや考えを知ることができた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々との交流のための打合せ時間の確保が課題である。</p> <p>児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等とのさらなる交流を深めることができるようにするために、「総合的な学習の時間」や行事等において積極的に地域の人材を活用するよう、各学校の担当者に對して効果的な取組について情報提供するとともに「総合的な学習の時間」等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導している。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進			推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	推進	推進	推進	推進			推進	推進													
25	豊かな心の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県道徳教育推進協議会を核とした道徳教育実践研究(指定校)事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通して、道徳教育を推進する。</p> <p>1 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表紙等への指導助言を行った。</p> <p>2 徳島県道徳教育推進協議会との連携を通して研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表紙等への指導助言(研究発表表紙4校、市道徳部会3回、県道徳部会2回)や道徳教育実践研究(指定校)事業(6校)の研究成果の普及を通して、指導の改善に資することができた。</p> <p>(課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、県小中学校教育研究会道徳部会等との連携を深めることが重要である。</p> <p>県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を一層深め、学校の教育目標、学校や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえ、「特別の教科 道徳」の充実に向けた取組の推進を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進			推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	推進	推進	推進	推進			推進	推進													



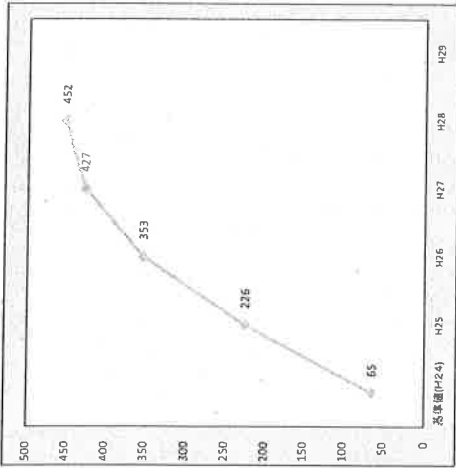
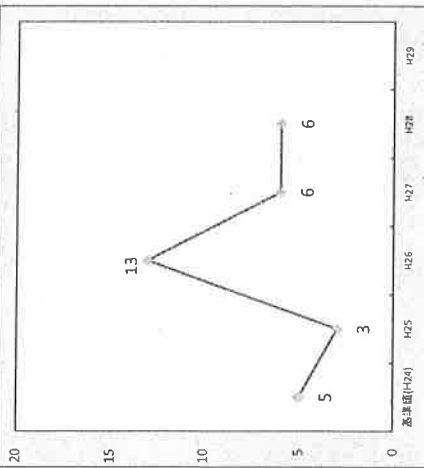
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
26	豊かな心の育成	豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進 各学校における、児童生徒のボランティア活動への参加 機会の設定	取組状況 (H28年度 分)	<p>学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。</p> <p>東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材を提供し、ボランティア活動による社会貢献への意識の高揚を図るとともに、各学校において、福祉施設の見学、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 各学校において、東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保、及び活動を推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。</p> <p>効果的な取組についての情報提供を行い、学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
—	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進														
27	豊かな心の育成	環境教育の推進 「新 学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合	取組状況 (H28年度 分)	<p>事業目的</p> <p>従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域にも波及させ、環境美化活動や自然観察等の体験活動を積極的に取り入れ、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。</p> <p>さらに、この取組の成果を生かし、「新 学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切にし、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。</p> <p>「新 学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成28年度は7校が新規に認証取得を行った。平成27年度までの認定校と合わせて82.7%が認証取得している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>75</td> <td>78</td> <td>80.3</td> <td>82.7</td> <td>100.9%</td> <td>82</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 本年度の新規の認定校（7校）を合わせると、目標としている82%を達成している。「新 学校版環境ISO」の認証取得を通して、環境保全活動や環境学習が全体的に浸透しつつある。また、児童・生徒、教職員が一体となった取組が家庭や地域にも広がっている。</p> <p>(課題) 「新 学校版環境ISO」新規申請校の一層の増加が課題である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>校長会等を通じて、環境教育の推進について理解を求めるとともに、環境・エネルギー教育推進事業連絡協議会やエコリーダー養成講座、環境・エネルギー教育発表会における講演や実践発表をより一層充実することにより、「新 学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	75	75	78	80.3	82.7	100.9%	82	84	
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
75	75	78	80.3	82.7	100.9%	82	84															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
28	健康やかに生きる力の育成	<p>学校体育の充実と運動習慣の確立 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数</p> <p>基準値(H25) H25 H26 H27 H28 H29 9 - 14 12 13以上 15以上</p> <p>(単位：種目数)</p>	<p>改善傾向にあるものの、まだ全国平均以下の種目が多く、運動をする子としない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体状況とあわせて、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・家庭・地域が連携した取組を推進し、その実現を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小学3・4年生を中心に新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。</li> <li>小学校の体育授業への大学教員等による指導者派遣、運動・生活習慣確立のための指導者派遣を行った。</li> <li>自ら生活や運動習慣の目標を定め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1000歩を目指す取組を実施した。</li> <li>ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランキンングシステムの利用を促進した。</li> </ol> <p>(成果)平成28年度の全国体力・運動能力調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)、全国平均を上回る種目数が31種目中12種目になり、12種目で前年度より記録が向上した。</p> <p>(課題)全国と比較して、「20mシャトルラン」「持久走」等の「全身持久力」、「上体起こし」の「筋持久力」が低位の状況で課題が見られる。</p> <p>小学校体育授業への指導者派遣による実施対象学年に低学年を含める。また、学校の課題に応じた運動内容の提供や、より苦手な児童に目を向けた授業を実施していく。</p>
29	健康やかに生きる力の育成	<p>担当課 体育学校安全課 施策・成果指標</p> <p>学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合</p> <p>基準値(H25) H25 H26 H27 H28 H29 11.1 - 33.3 44.4 44.4 55.5</p> <p>(単位：%)</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「徳島県学校食育指導プランII」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>全立小中学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員のITによる「食に関する指導」の授業実施</li> <li>公立小中特別支援学校で、担任や栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施</li> <li>偏食傾向、肥満傾向のある児童生徒、また食物アレルギーのある児童生徒、また食物アレルギーのある児童生徒に対する指導を実施</li> </ol> <p>(成果)全立小中学校で授業を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣について授業をすることが、時間等や地域にも啓蒙することができた。</p> <p>(課題)栄養教諭・学校栄養職員が、置籍校や置籍調理場から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難な場合があった。</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図るとともに、栄養教諭が未配置校に赴いて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。</p>

番号	進捗項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
30	健康項目 健やかに生きる力の育成	学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率 	<p>地域の産業や文化等について学んだ生産者等に対する感謝の気持ちを育てるために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p> <p>1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。          2 年3回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月)          3 「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。          4 生産者団体等と地場産物活用推進のための会議を開催した。          5 学校給食で地場産物を活用するためのレシピ・調理技術マニュアルを作成し、全学校給食調理場に配布した。</p> <p>(単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国の基準(目標値)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>41.9</td> <td>46.8</td> <td>36.5</td> <td>43.2</td> <td>43.2</td> <td>123.4%</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地場産物活用の呼びかけにより、学校給食における地場産物の活用が進んでいる。</p> <p>(課題) 県産の肉や魚は、価格等の問題で活用が難しくかった。また、県産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>関係部局や生産者団体と連携をとりながら、地域の実態や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進める。</p>	国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	30	41.9	46.8	36.5	43.2	43.2	123.4%	35	35
国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
30	41.9	46.8	36.5	43.2	43.2	123.4%	35	35													
31	健康項目 健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 学校保健の充実 健康課題に対する地域検討会、研修会、講演会等の開催回数(累計) 	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組む。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防、肥満対策、生活習慣病予防対策を推進する。</p> <p>学校や地域に専門家を派遣し、学校や地域の実情に応じた取組を支援した。また、協議会を開催し、専門家と連携した取組を推進した。</p> <p>(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>113.3%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 協議会・対策会議を7回実施し、アレルギー疾患(1件)、生活習慣改善(3件)、食生活(1件)、健康管理(3件)、生活習慣病予防(1件)、性に関する指導(1件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。</p> <p>(課題) 肥満・生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。</p> <p>食育や体力向上との関連を図り、総合的に取り組む。また、肥満予防・生活習慣改善に向けて、元気なあわっ子憲章の啓蒙普及を図り、家庭との連携を深める取組を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	20	20	16	18	17	15	113.3%	15	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
20	20	16	18	17	15	113.3%	15	15													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																														
32	健康やかに生きる力の育成	学校保健の充実 肥満傾向の児童生徒数(小中) 担当課 体育学校安全課 施策・成果指標	<p>本県の子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して、子どもたちの生活習慣の改善、肥満予防の取組を行う。</p> <p>すべての小中高校で「生活習慣改善計画」を作成し、年間を通じてその実践に取り組んでいる。また、中高では「健康力アップ30日作戦」、小学校では「体力アップ100日作戦」として、児童生徒が自ら目標を立て、生活習慣改善の取組を推進する。PTAを対象として運動習慣や生活習慣に関する講習会等に指導者を派遣したり、県医師会との連携により「肥満傾向児」に対する2次検診を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,437人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>H25の4.7%減</td> <td>H28の5.3%減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H25の4%減</td> <td>H25の6%減</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。</p> <p>(課題) 全国的にみて、本県の子どもたちの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけでなく、保護者や家庭の果たす役割が重要である。</p> <p>徳島の未来を担うすべての子どもたちの健康づくりを目指して「元気あわつ子憲章」について広く県民に周知を図るとともに、子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域等が連携して、「運動」「食」「睡眠」などの基本的な生活習慣の改善の取組を行う。</p>	(単位：%)					基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	5,437人	-	-	H25の4.7%減	H28の5.3%減				H25の4%減	H25の6%減										
(単位：%)																																	
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28																													
5,437人	-	-	H25の4.7%減	H28の5.3%減																													
			H25の4%減	H25の6%減																													
33	個性がひらく特別支援教育の推進	相談支援体制の充実 ニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成率 担当課 特別支援教育課 施策・成果指標	<p>障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるために、関係機関が連携し障がいの状態等に応じた支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。</p> <p>1 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、地域特別支援連携協議会等において、作成のメリットについて説明し、具体的な作成手順や活用方法等について周知を図った。</p> <p>2 県立総合教育センターが作成している「個別の教育支援計画」を作成するために、手引き等も活用し、特別支援教育巡回相談員が相談や校内研修の場などを通じて、作成についての助言を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.7</td> <td>80.0</td> <td>87.4</td> <td>90.3</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H28の115.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H28) 85.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29) 95.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 障がいのある幼児児童生徒の情を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。</p> <p>(課題) 作成にあたって、保護者の同意を必要としているので、作成の必要がある幼児児童生徒がいても、保護者の同意が得られない等作成が困難な場合がある。</p> <p>特別支援教育コーディネーター研修や特別支援学級担任者研修を通じて、障がいのある幼児児童生徒の早期支援のため「個別の教育支援計画」が重要であることを学校リーダー研修等を通じて各園・学校に周知するとともに、幼稚園から小学校、中学校の進学時に引き継ぎのためにも作成の必要があることを保護者へ改めて周知する。加えて作成が進んでいない学校等に対しては、巡回相談員が相談や研修の場において指導等を行ったり、指導主事が直接各学校からの相談に応じたりする。</p>	(単位：%)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	73.7	80.0	87.4	90.3	97.8					H28の115.1%					目標値(H28) 85.0					目標値(H29) 95.0
(単位：%)																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28																													
73.7	80.0	87.4	90.3	97.8																													
				H28の115.1%																													
				目標値(H28) 85.0																													
				目標値(H29) 95.0																													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																										
34	個性がひらく特別支援教育の推進	<b>就労支援の充実</b> 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>基準値(H24)</td><td>300</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td><td>352</td><td>453</td><td>550</td><td>644</td><td>644</td></tr> <tr><td>達成率(H28)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>143.1%</td><td></td></tr> <tr><td>目標値(H28)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>450</td><td></td></tr> <tr><td>目標値(H29)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>550</td></tr> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	300						実績値		352	453	550	644	644	達成率(H28)					143.1%		目標値(H28)					450		目標値(H29)						550	<b>事業目的</b> 特別支援学校では、事業所等で適性に定めた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただける事業所を開拓していく。  <b>取組状況(H28年度分)</b> 就業体験の場や機会の拡充を図るため、新たな事業所、以前からつながりのある事業所や福祉事業所に対し、特別支援学校進路指導主事等12名が年間2,118回の訪問を行った。  <b>評価</b> (成果) 新たに118事業所に対し、特別支援学校や就業体験についての説明を行い、94事業所から就業体験受入協力の意向が示された。 (課題) 特別支援学校の生徒は、事業所での就業体験を繰り返すことにより職業の適性や職場環境への適応を見極め、卒業後の就労に結びついている。そのため、進路指導主事を中心とした、生徒一人ひとりの実態や障がい特性に応じた就業体験先の確保と事業所とのマッチングが課題となっている。 徳島労働局・ハローワークや商工労働観光部労働雇用戦略課、障がい者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関と連携し、特別支援学校ゆめチャレンジフェスティバルや東部開催 参加企業21社 参加生徒98名 参加企業23社 参加生徒109名、西部開催 参加企業21社 参加生徒98名 参加企業21社 参加生徒109名、ゆめチャレンジフェスティバルへの参加や技能検定の受験により、生徒の働く動機付けが高まってきた。 特別支援学校の生徒等の就業支援に関する協定締結 (徳島ビルメンテナンス協会・徳島ビルメンテナンス協同組合、(株)キョーエイ、徳島老人福祉施設協議会) ※平成28年度全体就職率：37.1%
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																							
基準値(H24)	300																																												
実績値		352	453	550	644	644																																							
達成率(H28)					143.1%																																								
目標値(H28)					450																																								
目標値(H29)						550																																							
35	個性がひらく特別支援教育の推進	<b>就労支援の充実</b> 県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>基準値(H24)</td><td>97</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td><td>96.6</td><td>96.6</td><td>96.6</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>達成率(H28)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100.0%</td><td></td></tr> <tr><td>目標値(H28)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td></td></tr> <tr><td>目標値(H29)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td></tr> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	97						実績値		96.6	96.6	96.6	100	100	達成率(H28)					100.0%		目標値(H28)					100		目標値(H29)						100	<b>事業目的</b> 企業への障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就業意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組を強化する。  <b>取組状況(H28年度分)</b> 県内2か所における特別支援学校ゆめチャレンジフェスティバルの開催 東部開催 参加企業23社 参加生徒109名、西部開催 参加企業21社 参加生徒98名 ゆめチャレンジフェスティバルへの参加や技能検定の受験により、生徒の働く動機付けが高まってきた。 特別支援学校の生徒等の就業支援に関する協定締結 (徳島ビルメンテナンス協会・徳島ビルメンテナンス協同組合、(株)キョーエイ、徳島老人福祉施設協議会) ※平成28年度全体就職率：37.1%
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																							
基準値(H24)	97																																												
実績値		96.6	96.6	96.6	100	100																																							
達成率(H28)					100.0%																																								
目標値(H28)					100																																								
目標値(H29)						100																																							

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針												
36	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受検者数</p>  <table border="1"> <caption>特別支援教育課 担当課 特別支援教育課</caption> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>226</td> <td>353</td> <td>427</td> <td>452</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	65	226	353	427	452	390	<p>事業目的 特別支援学校の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンクス（自在ぼうぎ、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ）、接客（喫茶サービス）、介護（シーツ回収、シーツセット）、ICT（ワーブル）の4分野8項目を実施し、延べ452名の生徒が受検し合格認定を受けた。また、各分野部会において、各校の取組についての情報交換や、今後の技能検定の実施の方向性について検討を行った。検定の周知については、介護分野でマスコミへの資料提供を行うとともに、ゆめチャレンジャーフェアにおいて、参加企業の方々に検定の実像を披露した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。西部開催の定章により西部の受検者が増加し、ICT分野においては、肢体不自由のある生徒等の受検者数が増加した。また、流通分野については、平成29年3月にピレ検査を実施した。部会での情報交換により、部会主体の検定運営に向け、教員の意識が高まった。</p> <p>(課題) より多くの生徒が技能検定を受検できるよう、各校開催に向けて教員研修への移行を図る必要がある。また、上位級取得者のさらなる意欲向上のため、身に付けた技能の披露や評価の場を増やす必要がある。</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>ビルメンテナンクス、接客、介護、ICTに新たに流通分野を加えた5分野について技能検定を実施し、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。また、審査員認定教員研修会を実施し、教員による審査を開始する。上位級取得者に対するビルメンテナンクス分野での競技会実施、接客分野での応用編の実施とともに、検定未受検者への興味関心の喚起のため、ICT分野の新種目の開発も行う。</p>
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29											
65	226	353	427	452	390											
37	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数</p>  <table border="1"> <caption>特別支援教育課 担当課 特別支援教育課</caption> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	5	13	6	6	15	15	<p>事業目的 発達障がい教育の充実、発達障がい者総合支援センター、地域若者サポートステーション、職業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビスタッフ会議システムを利用し、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学校段階の生徒の就労支援を実施する。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <p>テレビスタッフ会議システムを活用し、個別のケース相談に加えて、関係機関同士で互いの情報交換を行う運営委員会を1回、各関係機関が高等学校に提供できるサービス等について紹介する情報交換会を5回実施した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、3件(2校)のケース相談に応じるとともに、5回の情報交換会において発達障がい者支援センター(2か所)や地域若者サポートステーション(2か所)、障がい者就労・生活支援センター(1か所)が提供するサービスについて6校の高等学校に情報提供することができた。</p> <p>(課題) Web相談は、就労支援の関係団体と連携し、高校生の卒業後の就労支援を目的としている。一度関係機関と連携した相談を行った学校は、独自で各機関に相談、連携することがみられるため、従来行っている学校への周知に加え、相談のメリットを各担任にまで広く伝えられるよう工夫する必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担任を含め全ての教員に対して本事業の周知を図るとともに、広報リーフレットに「障がいの診断が無い事例でも活用可能であること」を明記する。また、遠隔地からの利用や時間の自由度が高いというメリットがあり、教員の負担軽減効果も高いため、平成29年度から高校等に導入されたタブレットPCからの活用マニュアルの整備といった工夫を行い、必要のある生徒に対するWeb相談の活用をさらに促進する。</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>ビルメンテナンクス、接客、介護、ICTに新たに流通分野を加えた5分野について技能検定を実施し、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。また、審査員認定教員研修会を実施し、教員による審査を開始する。上位級取得者に対するビルメンテナンクス分野での競技会実施、接客分野での応用編の実施とともに、検定未受検者への興味関心の喚起のため、ICT分野の新種目の開発も行う。</p>
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29											
5	13	6	6	15	15											

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
38	個性がひらく特別支援教育の推進	発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数 	徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。 事業目的 第1回研究会参加校数(8月25・26日実施)：県外82校、県内278校 計360校 ※第49回(全国情緒障害教育研究会と同時開催) 第2回研究会参加校数(12月15日実施)：県外10校、県内19校 計29校 合計389校 (単位：校) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>89</td> <td>99</td> <td>120</td> <td>389</td> <td></td> <td>389.0%</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 第1回研究会が第49回全国情緒障害教育研究会と同時開催だったため、県内外から88校の参加があった。学校開催では会場の狭さが課題であったため、2回目を校外の広い会場で開催し、大勢の方に参加してもらったこととできた。また県外の高校の事例発表を行うことで、県外の先進的取組も知る良い機会となった。 (課題) 本研究会で発信したような内容を、各園や学校での実践に広げていってもらおう中で、その実践の様子や課題についてアドバイザーバックするような場も設けていく必要がある。また、実践につなげていってもらえるよう、参加者のニーズに応えるテーマや研修内容を設定する。 今後、発達障がい教育研究会を通して、県内及び県外へ情報発信を行っていく。研究会のたびに、アンケート等をおして参加者の各園・学校でアドバイザーがほしい事例や研修テーマについて情報収集し、次回の研究会計画に活かしていく。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	30	89	99	120	389		389.0%	100	100
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
30	89	99	120	389		389.0%	100	100													
39	個性がひらく特別支援教育の推進	担当課 特別支援教育課 施策・成果指標 発達障がい教育の充実 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践教育の事例数(累計) 	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 徳島県において、発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを核とし、共生社会の実現に向けた「とくしま支援モデル」の開発など徳島ならではの特別支援教育の充実を図る。 平成28年度においては、各事例の担任だけでなく、事例に関わる教員チームとしてコンサルに取り組みることによって、アドバイザーからの指導や助言を複数の教員で共有。発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームと連携し、相談と評価の年間2回実施・客観的評価により授業改善を取り入れた「学校コンサルテーション(徳島スタイル)」を継続して実施した。特別支援学校6校と小学校1校で実施。 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>27</td> <td>50</td> <td></td> <td>250%</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 事例に複数の教員によるチームで取り組み、アドバイザーの指導や助言の共有による組織的な専門性の向上を図ることができた。複数年の継続した取組により、「学校コンサルテーション(徳島スタイル)」を1つのモデルとして形作ることができた。各学校の実践成果を特別支援教育実践研究会において県内外に発信することができた。 (課題) 学校コンサルテーションを活用した専門性の向上を図るためには、専門性の高い校内リーダーの育成や校内での研究課題の共通理解など校内支援体制の充実に加え、各教員一人一人の専門性の向上を図る必要がある。 インターネットを活用して他校の学校コンサルテーションの成果についても幅広く閲覧・活用できる仕組みとしており、報告された事例について、コーディネーター研修や校内研修などにおいて活用し、課題への具体的な対心力等についてのスキルアップを図る。	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	-	-	27	50		250%	20	50
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
-	-	-	27	50		250%	20	50													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																		
40	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>発達障がい教育の充実 特別支援教育に関するeラーニング研修システムへの年間延べアクセス数</p> <table border="1"> <tr> <td>2800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H29</td> </tr> </table> <p>2103</p>	2800		2300		1800		1300		800		300			H28		H29	<p>事業目的 教員が幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な始動や必要な支援ができるように、eラーニング研修システムを開発し、教員の専門性向上を図る。</p> <p>特別支援学校の教員を中心とした作問委員会を編成し、「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携し、eラーニング研修システムの学習教材の開発を進めた。</p> <p>取組状況(H28年度分)  <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>開発</td> <td>2103</td> <td></td> <td>210.3%</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> </tr> </table>           (単位：件)</p> <p>評価 (成果) 作問委員会が53領域646問の問題を作成し、逐次公開した。また、教員研修の事前課題とするなど、eラーニング教材へのアクセスを拡大する試行的な取組を行った。平成28年7月から平成29年3月末までに2,013件のアクセスがあった。(課題) 教員研修の事前課題等において教材を本格的に活用すること、学校等において教材が幅広く活用される方策を検討すること、質の高い教材を効率的に作成する方策を明らかにすることが課題である。</p> <p>今後の取組方針 ・今後は、eラーニング教材を総合教育センターで実施する教員研修の事前課題として本格的に導入するとともに、各学校等で行う研修や巡回相談員、コーディネーター等の理解啓発活動への活用を図る。 ・専門性の高い教員による作問委員会に加え、外部講師を招聘した研修等に於いて研修内容に於いて講師に依頼するなどの方法についても検討を行い、より質の高い教材を効率的に作成できる方策を探る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	-	-	開発	2103		210.3%	1,000	1,200
2800																																					
2300																																					
1800																																					
1300																																					
800																																					
300																																					
	H28																																				
	H29																																				
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																													
-	-	-	開発	2103		210.3%	1,000	1,200																													
41	行動につながる人権教育の推進	<p>担当課 特別支援教育課            施策・成果指標            教育活動全体を通じた人権教育の充実            「徳島県人権教育推進方針」の改定・推進</p>	<p>事業目的 人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育を更に推進し、充実を図っていく。</p> <p>取組状況(H28年度分) 平成25年度に作成したリーフレット「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」を基に、各種研修会や学校訪問等を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容の周知に努めた。また、具体的な実践につながる指導者の周知・活用の推進に努めた。</p> <p>評価 (成果) 各種研修会や学校訪問を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容を周知するとともに、具体的実践につながる指導者用資料の活用促進を図ることができた。 (課題) 追記した内容や指導者用資料を周知するとともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育を更に推進する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 各種研修会や学校訪問、要請訪問など様々な機会を通じて、リーフレットや指導者用資料を活用した人権教育の具体実践を進めることができるよう指導し、人権教育の充実を図っていく。</p>																																		



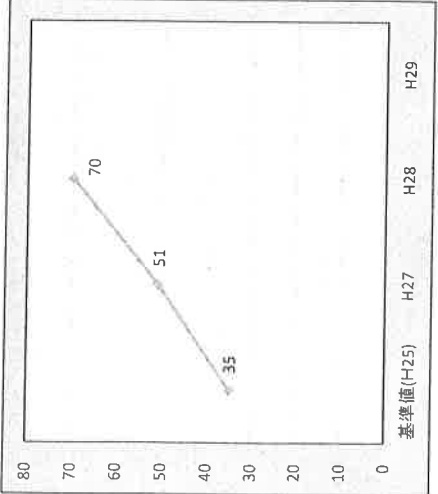
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
42	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育研究校の指定校数</p> <table border="1"> <caption>基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)</caption> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>(単位:校)</p>	8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8	<p>事業目的 人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。</p> <p>1 研究指定校の指定 ○県指定(辻幼稚園、大松幼稚園、鴨島支援学校、城北高等学校) ○文部科学省指定(芝生小学校、浜野小学校、松茂中学校、池田中学校) 2 研究発表会の開催 11月9日(辻幼稚園、芝生小学校) 10月26日(鴨島支援学校) 3 ホームページ等での情報発信 11月10日(松茂中学校)</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実に努めるとともに、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実にもつなげた。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を広く県内各園・校に普及し、人権教育の充実を図ることができた。</p> <p>(課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。</p> <p>研究指定校において、地域の実情や新たな人権課題に応じた研究を進めていくために授業研究や研修の支援に努める。幅広い年代の教員が研究発表会に参加できるように工夫したり、研修会や要請訪問等様々な機会を捉えてその研究成果を広めたりし、人権教育の充実を図っていく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 初任者研修(人権教育) (7月28日)</li> <li>2 学校リーダー研修(人権教育) 小・中学校(5月25日)、高等学校・特別支援学校(5月27日)</li> <li>3 “あわ”じんけん講座 ①実践力向上講座(8年目の教員) 幼(7月22日)、小(7月25日)、中(7月27日)、高・特(7月26日) ②指導力充実講座(10年経歴者) 幼、小、中、高・特(8月16日)</li> <li>4 人権教育主事研修会 年間3回</li> <li>5 教職5年次研修(人権教育) 小(8月24日)、中・特(8月23日)、高・養(8月23日)</li> </ol> <table border="1"> <caption>基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)</caption> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>(単位:回)</p> <p>(成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することにより、人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。</p> <p>(課題) 人権教育のほかにも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。研修内容の充実を更に図るとともに、総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を更に確保していく必要がある。</p> <p>全国的に教員の世代交代が進みつつある中、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を扱い、教員の人権意識と指導力の向上に努めていくことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につなげていくように、研修内容・指導方法の改善・充実に努める。</p> <p>今後の取組方針</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8	4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4
8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8																															
4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4																															
43	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数</p> <table border="1"> <caption>基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)</caption> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>(単位:回)</p>	4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 初任者研修(人権教育) (7月28日)</li> <li>2 学校リーダー研修(人権教育) 小・中学校(5月25日)、高等学校・特別支援学校(5月27日)</li> <li>3 “あわ”じんけん講座 ①実践力向上講座(8年目の教員) 幼(7月22日)、小(7月25日)、中(7月27日)、高・特(7月26日) ②指導力充実講座(10年経歴者) 幼、小、中、高・特(8月16日)</li> <li>4 人権教育主事研修会 年間3回</li> <li>5 教職5年次研修(人権教育) 小(8月24日)、中・特(8月23日)、高・養(8月23日)</li> </ol> <table border="1"> <caption>基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)</caption> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>(単位:回)</p> <p>(成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することにより、人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。</p> <p>(課題) 人権教育のほかにも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。研修内容の充実を更に図るとともに、総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を更に確保していく必要がある。</p> <p>全国的に教員の世代交代が進みつつある中、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を扱い、教員の人権意識と指導力の向上に努めていくことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につなげていくように、研修内容・指導方法の改善・充実に努める。</p> <p>今後の取組方針</p>	4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4																		
4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4																															
4	5	5	5	5	5	125.0%	4	4																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
44	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員による研修等の満足度</p> <p>基値値(H27) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)</p> <p>(単位:回)</p> <p>90 - - 98 95 103.2%</p>	<p>事業目的 人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づき人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することを目的とする。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>41名の徳島県人権教育指導員を委嘱し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において、個人人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行った。様々な人権課題や今日的な課題に対応できるようにするために、指導員の選考を行い、推進方針に掲げる全ての個人人権課題に加えて普遍的な観点からも指導できる体制を整えた。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>(課題) 各学校等から依頼のある個人人権課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個人人権課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日の課題、特に昨年施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」等についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p>
45	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</p> <p>基値値 H25 H26 H27 H28 H29</p> <p>3,000 5,857 6,173 4,439 4,450</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「いのち」の大切さや生きることのすばらしさをメッセージに託し、「いのち」の輝きを表現した作品の募集を通じて、「いのち」や人と人とのつながりの大切さ、人権尊重の重要性について考える機会を県民一人ひとりに持たせ、人権尊重の精神の涵養を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料として活用することにより、県民一人ひとりに自他の「いのち」や人権を尊重することはどのようなことなのかを感じ取っていただき、人権が尊重される社会をつくりだすことに向けていくことを目的とする。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>1 作品募集 県内の幼稚園児から大人の方まで4,450点の作品応募があった。</p> <p>2 優秀作品の表彰式 平成28年度とくしま家庭教育フォーラム(2月26日)において、優秀作品(43作品)を表彰するとともに作品の展示を行った。</p> <p>3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用パネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できるようにした。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 「いのち」の大切さを考える機会となった作品募集とともに表彰式や優秀作品のパネル展示、パネルの貸出しなどにより、多くの県民が人権について考える機会とすることができた。</p> <p>(課題) 本事業は、毎年、児童生徒に広く普及しつづける。今後は、一般の部の作品の充実に向けて、学校を通じて保護者への参加呼びかけや各市町村教育委員会、また県立施設等へリーフレットを配付し、広報に努めていく。また、「いのち」の大切さをテーマにした作品であるため、学校や地域社会において人権フェスティバルや文化祭等において人権意識の高揚を図るために、効果的な作品の活用が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>作品募集について工夫し更に広報に努める。また、様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出しを行うとともに、作品集を学校や社会施設へ配付し、効果的な作品の活用を図る。</p>

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針														
46	行動につながる人権教育の推進	<p>自主的な活動の推進 中・高生による人権交流集会参加人数</p> <table border="1"> <caption>人権交流集会参加人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>412</td> <td>371</td> <td>358</td> <td>339</td> <td>477</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	参加人数	412	371	358	339	477	450	<p>事業目的 中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>取組状況(H28年度分) 中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流集会」には477名の参加者があり、講演後の分科会では、「セクシャルマイノリティ～性別違和を考える～」 「私たちは世界人～引いていますか～心の国境～」 「いじめについて」のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告発表が行われた。</p> <p>評価 (成果) 各ブロックの生徒部会や実行委員会では、現地研修や講演会等を通して積極的な交流や意見交換が行われた。交流集会にも477名の参加があり、校種を超えた活発な意見交換が行われ、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが見られた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 更に多くの生徒が参加して、共に学び交流が図れるように、4月の中・高・人権教育主事会で積極的に広報するとともに、ニーズの高い内容や日程・実施会場の工夫を図っていく必要がある。</p> <p>交流集会の進め方や生徒が参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるようにする。中・高生等が一堂に会して人権について語り合うことを通して、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるように取組を進めていく。</p>
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29											
参加人数	412	371	358	339	477	450											
47	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	<p>担当課 人権教育課 施策・成果指標 芸術文化活動の活性化 学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数</p> <table border="1"> <caption>学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>10,597</td> <td>11,577</td> <td>8,341</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p>	年度	H24	H25	H26	参加人数	10,597	11,577	8,341	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実させることで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげる。</p> <p>取組状況(H28年度分) 1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 巡回事業(派遣校数) 平成27年度 30校、平成28年度 41校 派遣事業(派遣校数) 平成27年度 21校、平成28年度 16校 派遣回数(派遣校数) 平成27年度 2校、平成28年度 4校</p> <p>2 徳島県児童演劇地方巡回公演</p> <p>評価 (成果) 文化庁事業・県費事業ともに、県作成の「文化教育人材バンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施したが、小規模校が多かったことと、申請時期が早まったことにより、申請校が減少し、目標値を上回る成果は出せなかった。(課題) 機会ある毎に優れた芸術に触れる機会である本事業の内容や実施効果について広報してきだが、申請時期の早期化への対応についても周知する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広範等により、新規実施校の開拓を含め、更なる学校での芸術文化活動の振興を図るとともに、積極的に小中高等学校へ働きかけを行い、制度の活用について促していきたい。</p>						
年度	H24	H25	H26														
参加人数	10,597	11,577	8,341														

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的																		
48	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>学校・家庭・地域の連携「とくしま教育の日(週間)」の効果的な事業の実施</p> <p>担当課 教育政策課</p> <p>施策・成果指標</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日(週間)」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。</p> <p>1 市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成28年度は930事業を取りまとめた。                  2 シンボルマークを活用し、ホームページを効果的に用いた広報に努めた。                  3 保護者向け広報紙の発行時期を変更し、実施事業の効果的な広報に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>シンボルマークを使った広報、啓発</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>事業の充実</td> <td></td> <td></td> <td>事業の充実</td> <td>事業の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 学校・家庭・地域の連携を深めるとともに、開かれた学校づくりを推進するため、県立学校、小中学校においてオープンスタールが開催されたほか、読書や文化祭を通じた保護者や地域との交流などの学校行事が数多く開催された。                  (課題) 効果的な事業の実施について、各関係団体、関係機関に対してさらに協力を求める。</p> <p>シンボルマークやホームページ、パネルを活用する等、事業の一体的な広報・啓発に努めるとともに、より効果的な事業を実施する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	シンボルマークを使った広報、啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施	事業の充実			事業の充実	事業の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	シンボルマークを使った広報、啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施	事業の充実			事業の充実	事業の充実													
49	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>学校・家庭・地域の連携                      放課後や週末等における教育・体験活動の実施率</p> <p>担当課 生涯学習課</p> <p>施策・成果指標</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>未来を担う子供たちに、放課後や週末等の豊かな学びの場を提供するため、地域住民や豊富な社会体験を持つ外部人材等の協力を得て、学校・家庭・地域が連携して地域全体で教育に取り組む体制を整備する。</p> <p>子供の豊かな学び推進研修会を実施し、実践報告や関係者の意見交換を行い、参加者の情報交換やスキルの向上を図った。また、社会教育研修大会や社会教育フェアシンポジウム一養成講座を開催し、社会教育に関する情報の共有や人材育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>51</td> <td>70</td> <td></td> <td>116.7%</td> <td>60</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 地域での放課後等における多様な学びの場づくりが、放課後子供教室などで推進されている。                  (課題) 地域人材の発掘やネットワーク化が必要である。</p> <p>各事業間の連携を図るとともに、地域の人材や団体が交流し、新たな連携が期待できるような機会を創出する。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	35	—	—	51	70		116.7%	60	75
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
35	—	—	51	70		116.7%	60	75													



事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

子供の自主的な読書活動を推進するための環境整備を図る「徳島県子どもの読書活動推進計画〔第三次推進計画〕」のもと、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子供の読書活動を推進する。

県立図書館において、定期的に県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催し807名の参加があった。また、総合教育センターでの読み聞かせ等にも285名が参加している。さらに子供の読書活動への興味・関心を高めるため、子供の県立図書館見学の行事や中・高・大学生を対象とした職業体験も随時実施し、1,211名の参加があった。「とくしま子ども読書活動推進アクション」事業において、ブックリストの普及促進のため、児童生徒を対象に、掲載図書をコメントやイラストなどで紹介する作品を募集したところ1,281点の作品の応募があり、表彰式などに生徒・保護者あわせて30名の参加者があった。

以上のイベント参加者は、2,333人であった。

基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
1,678	2,247	2,287	2,410	2,333		155.5%	1,500	1,500

(単位:人)

(成果) 県立図書館での定期的な「おはなし会」やボランティアによる「おはなし会」の開催をはじめ、子供たちの館内見学を積極的に行い、子供たちが本・読書にふれあう機会を拡大した。ブックリスト掲載図書に対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子供たちのブックリストへの関心を高めることができた。

(課題) 自主的な読書活動につなげていく工夫が必要である。

「徳島県読書活動の推進に関する条例」の施行や県立図書館の創設100周年を契機に、読書に関する各種行事や高校生を対象とした読み聞かせ講習会や異年齢のビブリオバトルなどを開催し、自主的に読書活動に取り組む気運を醸成する。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にした教育の充実を図る。

- 1 総合推進地域の指定  
文科科学省指定として、鳴門市と佐那河内村の2地域を指定して研究を実施した。
- 2 連絡協議会の開催  
研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。(第1回 7月11日 第2回 2月14日)
- 3 研究成果の普及  
ホームページで総合推進地域の取組について情報を発信した。

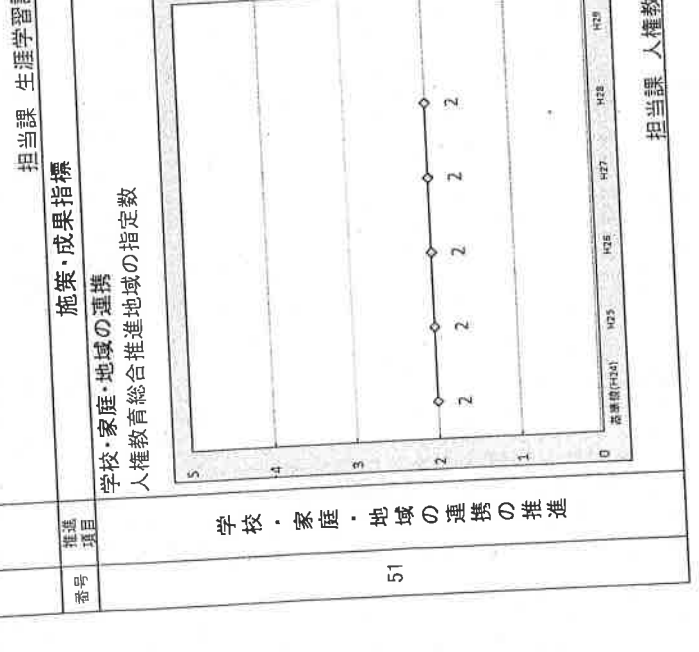
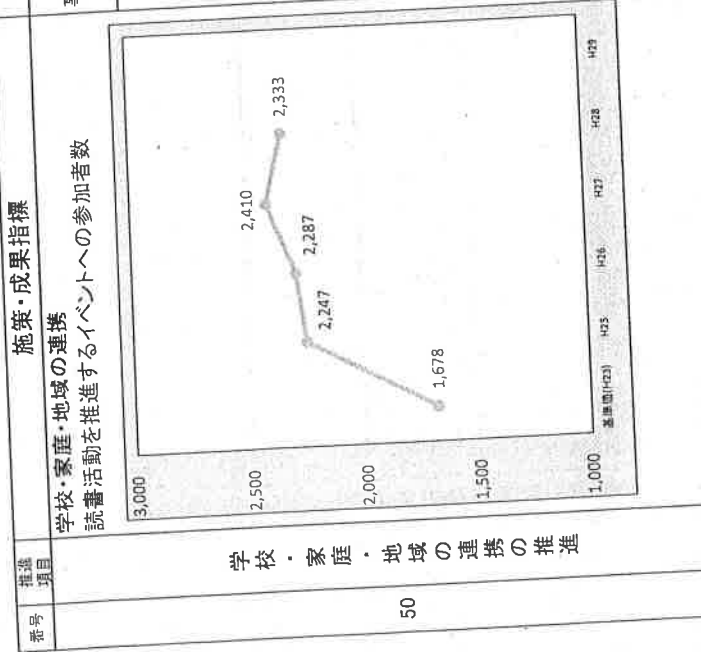
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
2	2	2	2	2		100.0%	2	2

(単位:地域)

(成果) 総合推進地域においては、教育委員会が学校と連携しながら地域全体で充実した取組を展開することができた。連絡協議会では、学校教育と社会教育の取組を一緒に協議し、校種間の連携や連携・協働の視座から人権教育の総合的な推進について考えることができた。

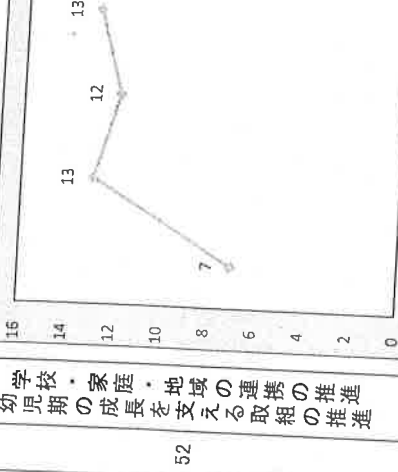
(課題) 総合推進地域への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。

人権教育研究推進事業連絡協議会を実施し、学校・家庭・地域が一体となった人権教育が推進できるよう、総合推進地域における課題や相談に対し支援していく。社会教育人権研修会やホームページでの公開など様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。



52

幼 児 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 の 推 進  
 見 期 の 成 長 を 支 え る 取 組 の 推 進



担当課 生涯学習課

施策・成果指標

事業目的  
 地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。

取組状況  
 (H28年度分)  
 平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育てで状況に合わせた内容となるよう工夫した。平成28年度は6講座を開催し38人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークショップをブランス意識の高揚を図るための講座も行い、36組74人の受講があった。

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
-	7	13	12	13	10	130.0%	10	10

(成果) 幅広い層を対象に、家庭教育について学習することができた。  
 (課題) ニーズや時代に対応した講座内容となるよう工夫していく。

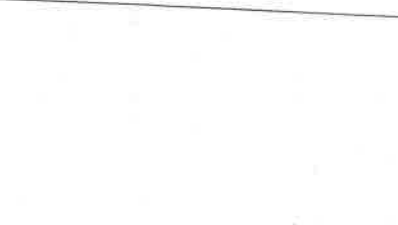
今後の取組方針  
 子供の安全や防災などの新たな内容を取り入れ、充実を図る。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

親の学びを支援する学習機会の充実を図ったり、家庭教育支援を牽引していく人材を養成していくなどの取組を通じて、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図る。

53

幼 児 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 の 推 進  
 見 期 の 成 長 を 支 え る 取 組 の 推 進



担当課 生涯学習課

施策・成果指標

事業目的  
 親の学びを支援する学習機会の充実を図ったり、家庭教育支援を牽引していく人材を養成していくなどの取組を通じて、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図る。

取組状況  
 (H28年度分)  
 親同志が交流しながら、子育ての悩みを共有したり、自分の子育てを振り返るとともに、子育てについて主体的に学ぶことを目的としたワークショップを使用する「とくしま親なびプログラム集」を作成し、県内の保育園や幼稚園、小中高等学校等に配布した。また、養成講座には35名の申込みがあり、修了した32名を「とくしま親なびリーダー(ファシリテーター)」として委嘱した。  
 (課題) 「とくしま親なびリーダー」の活躍の場と、親の学びを支援する学習の機会を提供するため、「親なびリーダー」派遣制度について、広く周知し、活用してもらおう必要がある。

基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
-	-	-	-	6	6	100.0%	6	6

(成果) 「とくしま親なびプログラム集」を作成し、県内の保育園や幼稚園、小中高等学校等に配布した。また、養成講座には35名の申込みがあり、修了した32名を「とくしま親なびリーダー(ファシリテーター)」として委嘱した。  
 (課題) 「とくしま親なびリーダー」の活躍の場と、親の学びを支援する学習の機会を提供するため、「親なびリーダー」派遣制度について、広く周知し、活用してもらおう必要がある。

今後の取組方針  
 「とくしま親なびリーダー(ファシリテーター)」を養成するとともに、派遣制度を広く活用してもらえよう制度等

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

親の学びを支援する学習機会の充実を図ったり、家庭教育支援を牽引していく人材を養成していくなどの取組を通じて、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図る。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
54	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>家庭の教育力の向上 「早寝 早起き 朝ごはん」に エコ活」表彰者(団体含む)数</p> <p>担当課 生涯学習課</p>	<p>事業目的 「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした、子供の基本的な生活習慣を育成し、生活リズム確立の気運を高めるため、夏期休業を中心とした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取組事例を募集し、優れた取組を表彰する。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>21</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> <td>160.0%</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 活動事例16点、標語400点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。優秀者も目標値を超える8名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。 (課題) 活動事例の応募者数が減少傾向にある。</p> <p>今後の取組方針 「早寝 早起き 朝ごはん」運動のさらなる推進を図るため、新たにPOPを募集し、啓発にも役立てる。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	2	21	7	8	8		160.0%	5	5
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
2	21	7	8	8		160.0%	5	5													
55	とくしまの教育力の活用	<p>実施・成果指標 学校サポーターズクラブ登録数</p> <p>担当課 生涯学習課</p>	<p>事業目的 地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポーターズクラブ認証制度を推進し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の成立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業(学校支援地域本部)」の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H26)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>79</td> <td>76</td> <td>103.9%</td> <td>76</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:市町村)</p> <p>評価 (成果) 全市町村79のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりをみせた。 (課題) さらなる制度の周知と推奨が必要である。</p> <p>今後の取組方針 学校を支援している団体やグループ等のネットワークづくりを促進していく上で、認証制度が有効であることを周知するとともに、認証にあたっての取組を支援する。</p>	基準値(H26)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	26	-	-	-	79	76	103.9%	76	83
基準値(H26)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
26	-	-	-	79	76	103.9%	76	83													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
56	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開  担当課 教育政策課	<p>県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。</p> <p>学校が主体となって地域に開放する行事イベント等、すべての県立学校において実施した。 ・学校開放事業（オープンスクール、人権・教育関係講演会、地域防災行事、清掃奉仕活動等）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展開</td> <td>展開</td> <td>全校展開</td> <td>取組内容の充実</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="4">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への気運醸成に貢献できた。</p> <p>(課題) 地域交流から地域貢献への発展を促進させる必要がある。</p> <p>学校における地域開放、地域貢献活動を発展させ、地域と学校のつながりを一層深める。また、「とくしま教育の日」シンボルマークやホームページ、パネルを活用するなど、積極的な広報に努める。</p> <p>今後の取組方針</p> <p><b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b></p> <p>学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。</p> <p>このことから、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容が周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。</p> <p>県単調査として平成27年度間における学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。</p> <p>平成28年度間における学校評価の実施状況については、平成29年度に調査する予定である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>92.5</td> <td>99.8</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H28,12以降判明</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 公立学校における学校評価結果の公表に関して、広く公表した学校は学校関係者評価では、平成25年度間が92.5%であり、平成27年度間は100%となった。なお、平成28年度間における状況については、平成29年度に調査予定である。</p> <p>(課題) 平成27年度間の学校評価（学校関係者評価）結果の公表率に関しては100.0%となったことから、これまでの取組を継続・充実することが望まれる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>学校評価に関する調査結果を踏まえ、学校便り等での直接説明や、地域の公共施設での掲示板の活用等の具体例を参考に、学校評価結果を「広く」公表することの徹底に向けて、各市町村教育委員会等に指導・助言を行う。</p>	(単位：－)				基準値(H24)	H25	H26	H27	展開	展開	全校展開	取組内容の充実					(単位：%)				基準値(H24)	H25	H26	H27	(単位：%)				基準値(H24)	H25	H26	H27	75	92.5	99.8	100				H28,12以降判明				100				100
(単位：－)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27																																																
展開	展開	全校展開	取組内容の充実																																																
(単位：%)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27																																																
(単位：%)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27																																																
75	92.5	99.8	100																																																
			H28,12以降判明																																																
			100																																																
			100																																																
57	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している学校の割合  担当課 学校教育課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>99.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後の取組方針</p>	年度	割合 (%)	H24	75	H25	92.5	H26	99.8	H27	100																																						
年度	割合 (%)																																																		
H24	75																																																		
H25	92.5																																																		
H26	99.8																																																		
H27	100																																																		



事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

<p>推進項目</p> <p>とくしまの教育力の活用</p>	<p>施策・成果指標</p> <p>開かれた学校づくり</p> <p>コミュニケーションスクールモデル校数(累計)</p>	<p>事業目的</p> <p>本事業は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>																																				
<p>取組状況(H28年度分)</p>	<p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>92.6%</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>(単位:校)</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	13	21	21	22	25	25	92.6%	27	30	<p>事業目的</p> <p>東みよし町全ての小中学校、伊藤利小学校、貞光小学校、貞光中学校、実光小学校及び実光中学校がモデル校として事業に取り組んだ。</p>	<p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>100.0%</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </table> <p>(単位:事例)</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	4	10	13	18	18	100.0%	18	22
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
13	21	21	22	25	25	92.6%	27	30																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
0	4	10	13	18	18	100.0%	18	22																															
<p>評価</p>	<p>評価</p> <p>(成果) モデル校では、保護者・地域住民と学校との信頼関係が深まり、風通しの良い学校運営が図られている。本事業での成果を経て、新たに貞光中学校に学校運営協議会が設置された。</p> <p>(課題) 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりをより一層推進するためには、モデル事業の継続した取組ととも</p>	<p>評価</p> <p>(成果) 全国規模の発表会やコンクールへの参加を義務づけたことにより、各校は、全国そして世界へ活動を発信できるようになり、次年度以降の意欲高揚に繋げることができた。</p> <p>(課題) 全国大会出場権獲得のための、県予選や中国・四国予選で惜しくも出場権を逃したケースも多い。その取組の評価について検討する。</p>	<p>評価</p> <p>取組の成果等を広報する場(あわ教育発表会)を設定し、より一層普及・推進を進めるとともに、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催し、各市町村教育委員会及び学校の理解を促す説明を行う。</p>																																				
<p>今後の取組方針</p>	<p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>	<p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>	<p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>																																				
<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>																																				
<p>番号</p> <p>58</p>	<p>番号</p> <p>58</p>	<p>番号</p> <p>58</p>	<p>番号</p> <p>58</p>																																				
<p>推進項目</p> <p>とくしまの教育力の活用</p>	<p>推進項目</p> <p>とくしまの教育力の活用</p>	<p>推進項目</p> <p>とくしまの教育力の活用</p>	<p>推進項目</p> <p>とくしまの教育力の活用</p>																																				
<p>番号</p> <p>59</p>	<p>番号</p> <p>59</p>	<p>番号</p> <p>59</p>	<p>番号</p> <p>59</p>																																				
<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>	<p>担当課</p> <p>学校教育課</p>																																				

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

本事業では、我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成することにも、生徒自身が「公共」について考える機会を設ける。

認定校2年目の池田高等学校が、第60回全国学芸サイエンスコンクールの人文社会科学部研究部門に応募し、金賞となった。認定校1年目の那賀高等学校は、「農村舞台での人形浄瑠璃公演活動から阿波の政治・経済を探究する」をテーマに、地域における人形浄瑠璃や農村舞台の意義と役割について、過去へ遡って一つ一つの歴史を紐解いていくことにより、中山間地域に多く所在する課題を探究し、ホームページ等で公表している。

基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
0	0	1	2	3	3	3	100.0%	3	4

(単位:事例)

(成果) 池田高等学校は、文献調査だけでなく専門家からの助言を受けて養蚕に取組むなど、文理融合のアプローチを実施してきた。全国学芸サイエンスコンクールの人文社会科学部研究部門に応募し、金賞となった。那賀高等学校は、取組1年目であるが、農村舞台で人形浄瑠璃公演活動に取り組むとともに、地域の課題解決に向けて探究し、積極的に情報発信を行った。

(課題) 人文科学分野の調査研究手法の指導や生徒の歴史的思考力等を培う指導を行う必要があるため、地理歴史科(公民科)教員の積極的な参画を促す必要がある。

「スーパーオーリーワンハイスクール事業」とともに生徒活動発表会を開催し、活動パネル展を開催するなど、各学校の取組に対する広報等について推進する。次年度に向けた事業の広報にも取り組む。

本事業は、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組む。

「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づき、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につなげる観点からの幼児教育の充実、小学校との連携・接続の推進、幼稚園・保育所・認定こども園等の連携の推進に取り組んだ。幼稚園・保育所・認定こども園との連携・接続の推進については、発達や学びの連続性を踏まえた指導の在り方や小学校との連携・接続の具体的な取組方法について指導を行った。幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクト指定地域に対する指導、助言と研究成果の普及を行った。幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携・接続の状況について調査し、その実態把握に努めるとともに、各市町村に対して情報提供した。

基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
-	-	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進

(単位:一)

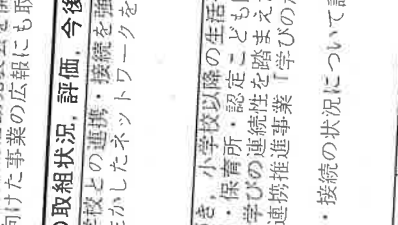
(成果) 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の必要性についての理解は進み、幼稚園・保育所・認定こども園において、幼児教育の充実に向けた取組が進められている。幼児・児童の交流活動も進められ、幼児・児童の成長や互いの教育活動についての共通理解が図られるとともに、円滑な接続が図られている。

(課題) 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指した取組の更なる充実が必要である。幼保連携型認定こども園や保育所と小学校との連携の充実を図っていく必要がある。

研修や施設訪問を通して、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につなげる観点からの教育・保育の充実と小学校教育との円滑な接続の在り方について指導・助言を行う。県内の市町村に対して幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・接続に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を各市町村に情報提供するとともに、指定事業「学びのかけ橋プロジェクト」の研究成果を普及する。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

開かれた学校づくり  
NIPPON探究スクール事業/実施校のうち、各分野の全  
国大会に出場した取組(累計)



特別と特色ある学校の教育力向上  
社会の発展に貢献する魅力ある学校づくり

担当課 学校教育課  
施策・成果指標

幼児教育の充実  
幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況

担当課 学校教育課  
施策・成果指標

幼児期の成長を支える取組の推進

担当課 学校教育課

61

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通じて一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への質的向上を図ること

「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づき、幼児の心身の負担に配慮し、家庭生活との連続性を図った預かり保育の充実を推進した。幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行うとともに、各種研修に学校訪問において預かり保育の実施状況を把握し、柔軟な保育と指導計画の作成等について指導した。おいて、幼児一人一人の生活リズムを考慮した柔軟な保育と指導計画の作成等について指導した。幼稚園設置市町への情報提供を行った。

(単位：－)

基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
－	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進

(成果) 保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。

(課題) 人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。

実態調査による実施状況の把握と、それを踏まえた情報提供や協力依頼のために、幼稚園設置市町への訪問指導を継続する。「徳島県幼児教育振興アクションプランII」に基づいた預かり保育の充実を推進する。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図るとともに、「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校(園)等に派遣、活動することで人権教育の推進に資する。

大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。

(単位：回)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
5	7	7	7	10	10	100.0%	10	15

(成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童の人権交流活動に派遣し、人権意識の高揚を図った。

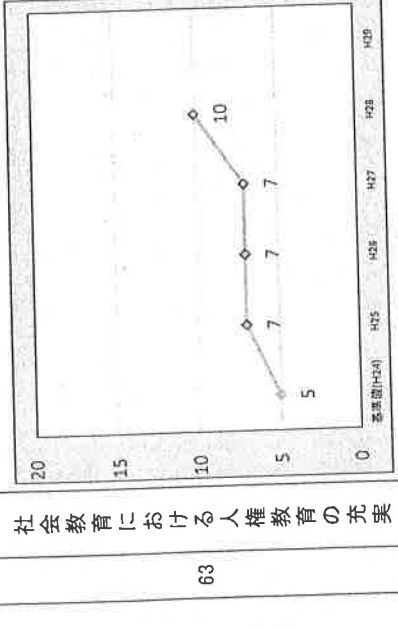
(課題) 各学校(園)からの要請数に応じて、大学サークル等が十分に活動できるよう更に連携を進めていく必要がある。

各大学のニーズに応じた交流研修会を計画し、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を図る。また、市町村教育委員会、各学校(園)に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を推進する。

番号 推進項目  
 実施・成果指標  
 預かり保育の充実  
 保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善

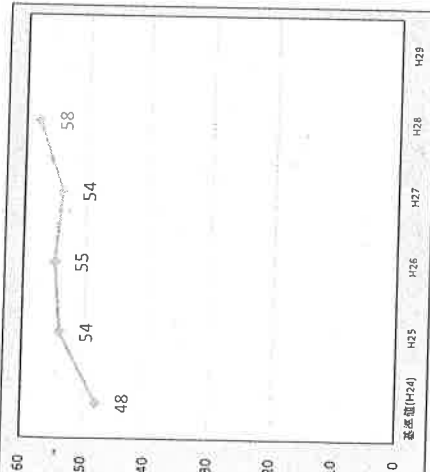
62  
 幼児期の成長を支える取組の推進

番号 推進項目  
 実施・成果指標  
 生涯学習の視点に立った人権教育の充実  
 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数



63  
 社会教育における人権教育の充実

担当課 人権教育課

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																								
64	社会教育における人権教育の充実	生涯学習の視点に立った人権教育の充実 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実 担当課 人権教育課	<p>同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>5市1町15学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの生涯を見通した取組が行われている。また、識字学級間、学校、社会教育団体等との交流活動。さらには、外国人や障がい者等の参加に併せて、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等でその成果の発表・展示も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">一</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間、学校、社会教育団体等との交流が行われた。識字学級生作品展では、一年間の活動の成果を作品として表現し、各識字学級同士との交流と県民への啓発につなげる展示会となった。</p> <p>(課題) 児童生徒等との交流を図り、識字学級に対する理解を深めるとともに、教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしているため、今後も活動に対する理解をもった参加者を増やしていくことが重要となる。</p> <p>「差別の現実から深く学び、人権尊重社会の実現に向けた取組の場」として歴史的にも存在価値は高い。今後とも生涯にわたる学習機会への充実について支援を行うとともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向けての理解を深めるために、学校や社会教育団体等との交流を積極的に実施し、活動の更なる充実を図っていく。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。</p> <p>社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者58名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">48</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>58</td> <td></td> <td>116.0%</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>(課題) 研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修内容の工夫改善が必要である。また、各市町村の諸事業にどのような取り組みが実施されているかを把握するために、情報を更に共有できる研修会を実施していく。</p> <p>毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修の内容の充実及び効果的な人権教育・啓発について情報交換を行い、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	一			推進	推進	推進	推進		推進	推進	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48		54	55	54	58		116.0%	50	50
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																		
一			推進	推進	推進	推進		推進	推進																																		
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																		
48		54	55	54	58		116.0%	50	50																																		
65	地域の教育に貢献する人材の育成	人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成 担当課 人権教育課	 <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。</p> <p>社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者58名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">48</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>58</td> <td></td> <td>116.0%</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>(課題) 研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修内容の工夫改善が必要である。また、各市町村の諸事業にどのような取り組みが実施されているかを把握するために、情報を更に共有できる研修会を実施していく。</p> <p>毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修の内容の充実及び効果的な人権教育・啓発について情報交換を行い、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。</p>	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48		54	55	54	58		116.0%	50	50																				
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																		
48		54	55	54	58		116.0%	50	50																																		